

女性のための採用情報



科学警察研究所

National Research Institute of Police Science, Japan



警察活動を科学の力で支え、日本の安心・安全に貢献する**女性**がたくさん働いています。

警察庁



女性が活躍しています

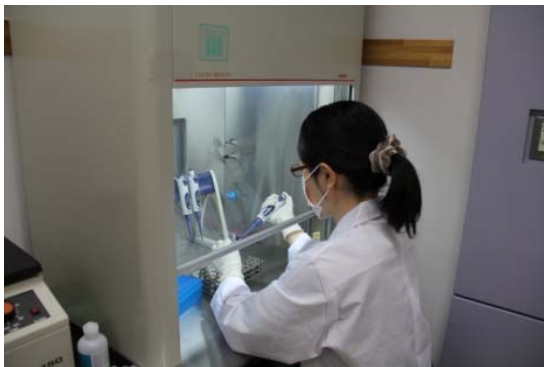
科学警察研究所では、多くの女性研究者が、それぞれの専門に応じた部門に配置され、研究・開発等を行っています。また、共同研究や学会参加などを通じて、国内は勿論、海外の研究者との学術交流を進めています。

仕事と育児等の両立を支援する制度

女性が結婚、出産後も仕事を続けていくことができるよう、**仕事と育児等の両立を支援する制度**として、産前産後休暇、育児休業、育児短時間勤務、育児時間取得、早出・遅出出勤、子どもの看護休暇、超過勤務の免除、妊産婦である女子研究員の勤務軽減など、厚生面でさまざまな制度が充実しています。女性にとって、安心して、やりがいをもって働ける環境が、科学警察研究所にはあります。

組織の中心で働く女性

法科学第一部生物第三研究室



Q:現在の業務内容は？

犯罪現場に残された血痕・体液斑の証明や血液型による個人識別に関する鑑定と、その技術開発を中心とした研究を行っています。DNA型鑑定は、その高い識別力から公判廷において重要な証拠となりますが、DNA型が何に由来するのかを明らかにする血痕・体液斑の証明も、犯罪を立証する上で非常に重要です。そこで、分子生物学、分析化学等の知識・技術を応用し、より精度の高い血痕・体液斑の検査法の開発に日々、取り組んでいます。

Q:心掛けていること

出産、育児休業を経て、現在は育児時間を取得しながら業務を行っています。育児と仕事の両立に協力してくれている家族や職場の人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、限られた就業時間内でも目標とする研究成果があげられるよう努力しています。また、自分の特異分野に固執せず、様々な視点で血液・体液斑の検査法が行えるよう、幅広い分野での情報収集に努めています。

Q:女性へのメッセージ

警察というと、男性社会のイメージが強いかもしれませんが、科警研は性別に関係なく、やりがいのある業務に携わることができ、成果が得られた分、きちんと評価してもらえる職場です。また、出産を経て復帰し、第一線で活躍している先輩も数多くいます。犯罪捜査に関連する研究開発に興味のある方、社会の安心・安全に貢献したい方、是非一緒に働いてみませんか。



犯罪行動科学部捜査支援研究室



Q:現在の業務内容は？

心理学の視点から、主に犯罪捜査を支援するための研究を行っているほか、犯罪者プロファイリングによる捜査支援や各都道府県警察の犯罪者プロファイリング分析担当者等への研修業務を担当しています。また、最近では、犯罪者プロファイリングに関する研究のほか、捜査現場に直結する研究課題として、被疑者等の取調べや人質立てこもり事件における交渉等に関する研究を進めています。

Q:心掛けていること

業務が比較的多岐にわたるので、業務のスケジュール管理を自分の中できちんと行えるよう努力しています。また、研究職として、それなりの研究成果を残すことを念頭に、業務に従事しなければならないのは勿論ですが、各種業務について自己満足せず、第一線の捜査現場の裏方として貢献し、結果を残すことを意識するよう心掛けています。

Q:女性へのメッセージ

常に捜査現場を意識しながら研究できるという環境は、とても魅力的です。また、私自身、長男を出産後に育児休業を取得し、職場復帰した今現在も育児時間を取得しながら勤務しており、仕事と育児が両立しやすいよう配慮していただいています。男女に関わらず、ライフスタイルの変化があれば少なからず仕事に影響すると思いますが、育児や介護等に関する制度が充実しており、かつ、上司や同僚の理解もあり、各種制度を活用できる環境も整っているという点において、自分の能力を十分に発揮できる職場だと思います。

交通科学部交通科学第二研究室



Q:現在の業務内容は？

高齢者や子ども、または事故や違反を起こした運転者を対象とした交通安全教育等の交通事故防止に関する研究を行っています。

私の専門分野は心理学ですが、工学、教育学、医学などの様々な研究領域と関連する研究テーマが多く、研究者として幅を広げるチャンスも豊富です。

悲惨な交通事故を減らし、安全で快適な交通環境を作っていくために、日々、研究に取り組んでいます。

Q:心掛けていること

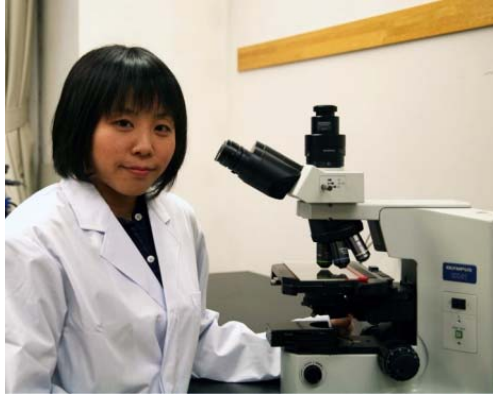
家族や友人との時間を大切にし、仕事とは別の楽しみや趣味など、打ち込める「何か」を持つことに心掛けています。仕事以外の人生が豊かであれば、仕事にも存分力を発揮することができると思います。長女が小学校に入学してからは、フレックスタイムを利用して朝型の生活に切り替えています。

Q:女性へのメッセージ

研究者として、一職員として、何ができるかを考えて全力で仕事に取り組むことに、性別は関係ないと思います。私自身の体験をお話しますと、警察庁の留学制度を活用して英国の大学院を修了することができましたし、長女が誕生した後にドイツの大学に登録して博士号を取得しました。家族がどれくらい支援してくれるかによって、仕事と育児の両立の大変さは変わってきますが、自分のペースで、働きながら自己実現することに理解を示してくれる職場です。



法科学第一部生物第一研究室



Q:現在の業務内容は？

毛髪及び軟組織に関する研究、鑑定等を行っています。特に、人毛か動物毛かの識別、人毛の発生部位推定などの形態学的検査や、犯罪現場に遺留された毛髪と特定の人物の毛髪との異同識別を担当しています。現在は、動物毛の異同識別法を確立するため、形態検査に加え、DNAに関する研究に取り組んでいます。

Q:心掛けていること

他の研究室の職員との交流を大切にしています。年齢、性別、所属の壁を越えた交流ができるのは、科警研の大きな魅力です。ランチや女子会、休日にはスポーツや旅行をすることもあり、情報交換やストレス発散をしています。専門性が高い仕事であるからこそ、視野を狭めたり、ストレスをため込んだりしないよう心掛けています。

Q:女性へのメッセージ

現在、私を含めた4名の女性職員が大学院に所属し、学位取得を目指しています。仕事と家庭を両立させながら学業に取り組むのは大変ですが、周りの方々の協力もあり、充実した毎日を送っています。入庁後に学位を取得した先輩も多いので、アドバイスやサポートをもらうことが多く、心強く思っています。また、女性職員のキャリアアップに、とても前向きな職場ですので、様々な知識や経験を生かして活躍することができます。警察組織の一員として、是非一緒に働きましょう。

法科学第三部化学第四研究室



Q:現在の業務内容は？

土砂、岩石や植物などの天然物は種類が豊富で生活環境の中に数多く存在するため、犯罪現場で発見される確率も高くなり、犯人と犯罪現場を結び付ける有力な証拠となります。この天然物に由来する微細な証拠物について、種類を特定したり、類似性を評価したり、さらには場所に関する情報を取得する方法の研究開発と実際の鑑定、検査への応用を行っています。

Q:心掛けていること

広い分野に興味を持つことです。「研究者」、と聞くと専門分野を極めるイメージですが、研究、鑑定は共に一筋縄ではいかないことばかりなので、異分野の知識が役に立つことが多々あります。仕事でもプライベートでも積極的に外に出て、広い知識や経験を得るように心掛けています。

Q:女性へのメッセージ

「警察」、「研究所」というワードから、入庁前は男性社会だと思っていましたが、全くそんなことはありません。幅広い年代の女性が活躍しており、入庁2年目の私にとって、人生の先輩として見習いたい人がたくさんいます。今後、結婚や出産というような環境の変化があっても、安心して働き続けることができそうだと感じています。



業務説明会等で、よくある質問

科捜研と科警研の違いを教えてください。

科学捜査研究所（通称：科捜研）は、都道府県警察に置かれており、身分は、地方公務員となります。科学警察研究所（通称：科警研）は、警察庁の附属機関であり、国家公務員となります。

転勤はありますか？

基本的にはありません。採用された研究室・研究部で退職まで勤務することとなりますが、希望すれば都道府県警察の科捜研に、出向（1～2年）することもできます。

昇任試験はありますか？

昇任試験はありません。採用時は研究員として採用されますが、勤務成績（研究業績等）や年齢・勤務年数などに応じて、室付主任研究官、研究室長、研究部の部付主任研究官、研究部長へとステップアップされます。

科警研に入ってから、学位を取得しても問題はないですか？

科警研では、現在、約100名の研究者が勤務していますが、この内、約7割の研究者が学位を取得しています。学位を取得してから入所する研究者もありますが、多くの研究者が入所後に学位を取得しています。中には、人事院主催の海外留学制度により、外国の大学で学位を取得する研究者もいます。

部外との共同研究はやっていませんか？

現在、科警研では、約60課題について、大学や企業との共同研究を積極的に進めています。

結婚して出産後も、仕事は続けていけますか？

仕事と育児の両立を支援する制度が充実しています。出産した女性研究者は、育児休業を取得した後、職場復帰し、育児短時間勤務や育児時間を活用しながら、仕事と育児の両立をはかっています。科警研の女性研究者で、出産に伴って退職した職員はいませんので、女性にとって安心して働ける職場だと思います。



お問い合わせをお待ちしています

科学警察研究所に興味をお持ちになられたみなさん、また、科学警察研究所に就職を希望しているみなさん、わからないことは遠慮せず、ご相談ください。より多くの方からの問い合わせをお待ちしています。

相談窓口

名 称： 警察庁科学警察研究所
所在地： 千葉県柏市柏の葉6丁目3番地1
TEL 04-7135-8001
<http://www.npa.go.jp/nrips/jp/index.html>
担当者： 総務部総務課
實川・深澤



犯罪の防止・検挙、それは警察に与えられた最重要課題です。社会の安心・安全(社会正義)を実現するため、科学警察研究所で働いてみませんか。そして、研究開発等により、警察活動を「科学の力」で支える喜びを感じてみませんか！！